

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公)

討議年月日: 2024年 2月 26日

公表: 2024年 3月 日

事業所名: 山崎さくらこども放課後等デイサービス八幡

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2 職員の配置数は適切である	○			今後も配置基準を遵守し都度確認を行います。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	バリアフリー・自宅のよう設備づくり	バリアフリーの状態から日常動作でも気を付ける点など児童達と確認しながら過ごします。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎月支援・業務についてのPDCA会議の実施	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者評価は職員に周知し改善するための話し合いの機会を持っている	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		事業所内外の研修に参加している	今後も職員・支援の資の向上の為積極的に研修参加を促します。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		水山モデルシートなどを用いてアセスメントを行っている	今後も状況把握・共有の為標準化されたアセスメントツールを用いて対応していきます。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		前月に会議で話し合い決めている	今後も定期的な職員間の話し合いの機会を設定していきます。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		毎月の会議や申し送りで行っている	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		アセスメント・前談や課題やニーズを計画に反映させている	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼時の申し送り	申し送りや役割分担の実施を継続していきます。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		情報共有ツールや申し送りにて共有している	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		管理者・児童官が参加	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		送迎時や電話にて適宜連絡を取っている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	該当なし	医療的ケアが必要なお子さんを受け入れる際には連絡体制を整えます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		今後新1年生などの申し込みがあれば積極的に情報共有の機会を持つ予定です。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		相談支援専門員に情報共有は行っていたが、就労先へ共有していない為連携していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		ご利用者様の要望を確認し対応していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		ご利用者様の要望を確認し対応していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			新入団員のペアレント研修受講を行っています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			報酬改定を受けての説明を丁寧に行う事を心掛けます。また支援内容についての情報共有は継続していきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談があれば適宜対応している	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		ご利用者様の要望を確認し対応していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている		○		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			職員への周知は行っているが、保護者への周知は不十分と感じている為安全計画等と一緒に周知に努める	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的に実施している		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○	該当者なし		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○			保護者の指示に基づいて対応しているが保護者と確認し必要に応じて対応する
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○				

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表： 2024年 3月 日

アンケート期間： 2024年 1月 30日～ 2024年 2月 22日

事業所名 茨城県立児童発達支援センター八潮

保護者等数(原簿数) 24 回収数 16 割合 66%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15			1		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	13			3	出勤職員が分かるように玄関に掲示したら安心感がある	ご提案について検討致します。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10			6		
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※Ⅰが作成されているか	16					
	5 活動プログラム※Ⅱが固定化しないよう工夫されているか	13		1	2		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	1	5	8		
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15	1				
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	14	2			出来るようになった、改善してきた、今後の課題等共有がある	今後も情報共有に努めます
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	2			家庭でもできる事があれば助言してほしい	ご家庭と連携して支援が出来るよう今後も努めます
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	1	3	10		
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14			2		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15		1			
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	1		4		
14 個人情報に十分注意しているか	14	2					
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7	5		4	不審者対応など対策がなされているか気になる	安全計画等を用いて周知に努めます
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	1		8		
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	15	1				
	18 事業所の支援に満足しているか	15		1			

※Ⅰ 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※Ⅱ 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。